

既存支承をすべり支承化

小豆橋など「すべリッチ」採用



猪谷橋に採用

既存支承をレベル2地

震時にすべり支承化させる支承付属製品として高田機工が開発した「すべリッチ」が、和歌山県の小豆橋、猪谷橋の耐震補強工事で採用された。

この工法は支承取り替えの必要がなくなる、支

承取り替えと比較し工費が3分の1〜半分で済むなどで、関心を集めている。

下部工の耐震補強を目的に、小豆橋では既設ピン支承、既設BPA支承の、猪谷橋では既設ピンローラ支承のソールプレート部をそれぞれすべリッチに取り替えた。

既存支承の上にNSP

プレート、すべりプレートを重ね、ノックオフボルトで既存支承に留める構造で、レベル2地震時にノックオフボルトが破断し、NSプレートとすべりプレートの境界が地震時滑動面となつてすべり支承化する。レベル1地震では固定支承として働く。

耐震補強の施工は、小

豆橋がシヨールボンド建設、猪谷橋が豊工業所。(根津寿子)